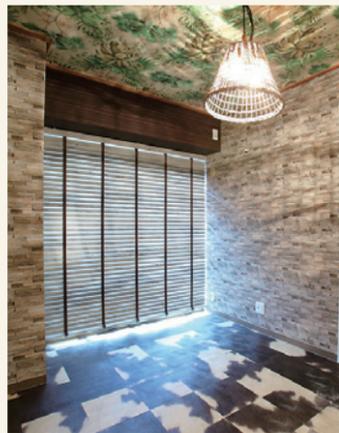




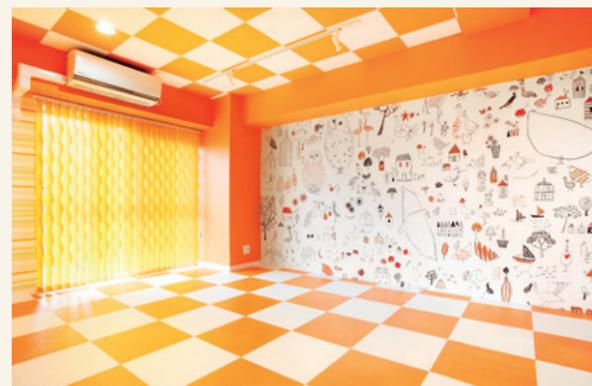
輸入壁紙施工の様子。



施工前(左)と施工後(右)。



さまざまな壁紙を取り揃え、施工を熟知した職人が施工を手掛けている。



モデルルーム「Innovative Boxes」にあるオレンジ色と白色の壁紙が印象的な部屋。デザインの組み合わせで、独自の空間を演出する。



キラッとひかる  
企業の知恵を  
ご紹介

知恵

キラリ

# 暮らしを豊かに楽しく 彩り添える内装で



代表取締役の山本潤三さん

## 株式会社クレバー

代表者/山本 潤三  
住 所/京都市右京区太秦多敷町14-76  
TEL / 075-861-7434  
URL / <http://www.atelierbox.net/>  
事業内容/内装工事業

### ワクワク感の演出で 壁紙中心のライフスタイルを提案

住宅や店舗、オフィス空間等の内装工事を手がけているクレバー。例えば、今まで壁紙(クロス)は白くてシンプルなもの、手入れしやすいものが好まれてきたが、「ほかに良い壁紙がたくさんあるのに、お客様に伝えられていなかったのではないかと山本潤三さん。同社では、汎用性のある国内メーカー品はもちろん、羊毛を原料としたフェルト素材の柔らかな質感のものや、ちぎり絵のようなデザインがあしらわれたもの、美術館に展示されているような豪華なも

のまで、見ているだけで心躍るような輸入壁紙も豊富に取り揃えている。こうしたワクワク感を発信する場

として、昨年1月、堀川下立売にオープンしたのが、体感型のモデルルーム「Innovative Boxes(革新的な空間群)」だ。例えば、家族が集うリビングは、オレンジ色と白色の壁紙を一つずつ四角にカットして市松模様にした。床にも同じデザインのタイルを貼ることで、まるで鏡に映ったような不思議な空間が浮かび上がる。また、寝室は少しずつ色が異なる壁紙をモザイク状に組み合わせ、風化したレンガの奥から自然風景が顔を出すような南国リゾートを表現

### ファッションのように着替える！ 強みを市場につなげる仕掛けづくり

普段、縦使いの壁紙を横や斜めに貼り合わせるだけで、従来とはまったく違ったイメージに仕上がる…。数ある内装材の中で、どんな素材をどのように組み合わせるのか？同社では、カラーコーディネーターやインテリアコーディネーターの資格を持ったデザイナーと、一級表装技能士の有資格者がいる技術チームが、二人三脚で他社が真似できない独自の空間を生み出している。創業以来、約20年手がけてきた内装工事は1万8千件以上。特に、大手ハウスメーカーから受注する仕事は、品質基準が厳しく、取り扱う内装材も最新トレンドのものが多く、「お客様の

野を広げようと考えている。ヨーロッパではホームセンターで壁紙が売られ、気分や季節に応じて人々が自らの手で壁紙の貼り替えを楽しんでいるという。「壁紙一つで、毎日の暮らしは豊かになる！」。扉の向こうに広がるワクワク空間。そんな素敵なライフスタイルが待つ世界にクレバーは誘ってくれる。

期待に応えることで、センスとスキルを磨いてきた」と振り返る。内装やデザイン等に精通した人材、2万種類以上ある壁紙の最適な組み合わせによって、ひとつの空間に顧客のイメージを実現するデザイン力と施工力、多様なネットワークや施工専門のグループ会社の活用等々、「私たちの強みをマーケットに結びつけようと考えている」。

今、マンションやアパートでは入居率の低下が課題となっているが、「コストのかかるリフォームはリスクも大きい。部屋の壁紙を替えることで、魅力的な空間を創出し、建物の付加価値を高められないか」。壁紙は低コストで何度でも貼り替えることが可能。せっかく改装したのに入居者が決まらない…というオーナーや管理会社の悩みを解決する。「B to B 中心のビジネスから B to B to C への展開で、下請けからの脱却を目指す」と意欲を示す。

### 地域に目を向けたビジネスで 顧客のすそ野を広げる

今年3月、同社は「経営革新計画」の承認を得た。「今まで限られた筒の中のシェアを広げることばかり考えていたが、これからは筒そのものの直

解説

## 知恵のポイント

### 商品の向こう側にある 「楽しい生活」をセットで提案

住宅を購入すれば、通常、壁紙や床材が付いています。購入者の希望で選べたとしても、限られたメーカーの限られた種類の中から、結局は汚れの目立ちにくいデザインや飽きのこないシンプルな色になる場合が多くあります。「内装材は脇役」という従来の捉え方ではなく、空間を演出し、暮らしに潤いを与えるツールとして積極的に提案していこうというのがクレバーの経営コンセプトです。

例えば、ある子ども部屋の施工事例では、花柄の壁紙の上にリボンをかいたようなデザイン壁紙を斜めに組み合わせることで、まるでプレゼントボックスのような素敵な空間に仕上げました。特別な素材を使うのではなく、既存の素材を巧みにミックスし、低コストで顧客ニーズを実現できるデザイン力と技術力が、他社では真似できない強みの一つでしょう。

従来、壁紙などの内装材は、一度貼ってしまえば貼り替えるタイミングはなかなか訪れません。また、貼り替え時期を予想することも難しいのが現状です。一方、同社が壁紙の提案型サービスを行う新規プロジェクト「Atelier Box(アトリエボックス)」では、内装材をコーディネートすることでマンションやアパートの付加価値を高めたり、住宅のメンテナンスのときに貼り替えキャンペーンを展開したりするなど、マンションオーナーや入居者の内装材に対する関心と呼び起こすことで「能動的」な需要を掘り起こそうと考えています。これらは、職人が活躍できる場の提供につながり、技術継承という点でも意味があります。

「ライフスタイルを変えないと、私たちへのニーズは生まれません」と山本社長が話すように、単に商品を提供するだけでなく、その向こう側にある楽しい生活、ワクワクするような感動をセットでお届けしているのがポイントでしょう。

応援します! 創業・経営革新・知恵の経営に取り組む  
企業のご相談にお応えします。 相談 無料 TEL: 075-212-6470  
(中小企業経営支援センター 知恵産業推進室)